

Ⅰ．概要

政策	I	みんなが活躍し、個性輝くまち	担当課室		
施策分野	6	スポーツ	スポーツ推進課		
目指す姿	市民がさまざまなかたちでスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らしています。				

Ⅱ．成果と課題

指標名	日常的にスポーツに親しんでいる市民の割合						施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる	
実績値	令和2年度	39.2 %	令和5年度		令和7年度			進捗度の 根拠や成果	市民が健康で豊かな暮らしを送るため、市民の誰もがスポーツに関わることが出来るよう情報発信を行うとともに、参加型のイベントを開催することで、ライフスタイルや年齢に応じてスポーツ活動に親しめる機会を提供した。また、スポーツに親しむ環境を提供するため、施設の維持保全を継続して推進している。		
目指す姿に向けた課題	市民が健康で豊かな暮らしを送るため、スポーツイベントの参加者数は増加しているが目標に達していないため、今後もスポーツ活動に親しめる機会創出を継続し、参加意識を向上させるような取り組みをしていく必要があります。また、施設利用者数は増加しているが目標には達しておらず、今後もスポーツ環境を持続的に提供するために、施設の機能保持・施設利用者の満足度を高める整備を検討していく必要があります。							今後の 方針	市民が健康で豊かな暮らしを送るため、今後もスポーツに関する情報発信、スポーツ活動の場の提供を推進するとともに、スポーツ施設計画に基づき、施設の整備・更新等を推進していきま ず 。行い、スポーツ環境を持続的に提供していく。		

Ⅲ．目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があった順番）

効果があった事務事業	担当課室	事務事業による目指す姿への効果の内容とその理由
① スポーツ活動支援事業	スポーツ推進課	生涯スポーツの振興と東京オリパラ大会を契機としたスポーツの振興、交流人口の拡大、地域の活性化を図るために、年齢、性別、障がいの有無を問わず、市民の誰もがスポーツに関わることができるよう、主にニュースポーツを普及・指導する「スポーツ推進委員派遣事業」を行いました（53件）。また、東京オリパラ大会関連情報や地元スポーツクラブ・ご当地アスリート情報を積極的に発信しました（24回）。
② スポーツ大会等開催事業	スポーツ推進課	各自のライフスタイルや年齢に応じてスポーツ活動に親しめる機会を提供するため、各種スポーツ大会・教室をコロナ対策を講じた上で開催しました。結果、主に6～10月開催の「市民体育大会」は、新型コロナ禍で約30競技のうち一部競技・種目が中止となったため、参加者はコロナ前の7割程度となった一方、スポーツEXPO、U15バスケットボールサマーキャンプ、公立高校サッカー大会などの新規事業を開催したため、「市主催等スポーツイベントの参加者数」は、目標数値の約95%まで引き上げることができました。また、子ども達のスポーツに対する興味・関心・競技力を向上させるため、トップアスリートの学校訪問事業をコロナ対策を講じた上で実施しました。結果、「トップアスリートの学校訪問」は、学校行事等の都合により6校実施としました。
③ 櫃原運動公園管理活用事業	スポーツ推進課	スポーツ環境を提供することにより、市民がスポーツに親しむ機会の確保に努めました。総合プールの休止により利用者は減少しているが、その他施設全体としては、主に多目的グラウンド（令和元年度竣工）と屋根付運動場（令和元年度人工芝敷設）の利用者数が増加し、その他施設全体としてはコロナの影響を受けず約5割増（令和4年度171,469人／令和元年113,712人）となりました。
④ 体育館管理活用事業	スポーツ推進課	スポーツ環境を提供することにより、市民がスポーツに親しむ機会の確保に努めました。新型コロナウイルス感染症対策のため実施していた制限を段階的に緩和したことで、主に屋内施設のトレーニングルームや体育館のアリーナの利用率が増加し、全体利用者数としてはコロナ前の約8割（令和元年度279,665人／令和3年度175,853人／令和4年度225,226人）まで回復しました。
⑤		

総合政策審議会からの提言等	